



本機を取り扱う前に本書の説明をよくお読みください。  
本書は大切に保管してください。

はじめに、添付の「安全にご利用いただくために」を参照して、本製品に関する安全上の注意事項を確認してください。

## 本製品の利用目的

本製品は、日本政府による高性能コンピューターの平和利用に関する指導の対象です。ご使用になるときは、以下について注意してください。

1. 不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により、適切にアクセス管理してください。
3. 大量破壊兵器、ミサイルの開発、またはそれらの製造等に関して、不正にアクセスされるおそれがあるときは、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚したときは、すみやかに弊社相談窓口までご連絡ください。


弊社相談窓口：ファーストコンタクトセンター 電話番号：03-3455-5800

箱を開けてから本機が使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

### ユーザーズガイドについて

ユーザーズガイドは、NECコーポレートサイト(<http://jpn.nec.com/>)に掲載しています。また、次のようにして参照することもできます。

- ① EXPRESSBUILDER DVDを入手済みのときは、Windowsが動作しているコンピューターにDVDをセットします。画面に従ってメニューを起動後、手順④へ進んでください。
- ② EXPRESSBUILDER DVDは、オプションで購入、またはNECコーポレートサイトからダウンロードできます。
- ③ 本書の手順(Step 5)に従って、Windowsをインストールします。
- ④ デスクトップまたはスタートメニューから「NEC EXPRESSBUILDER」をクリックします。
- ⑤ 次のメニューから、「説明書」をクリックします。



※T110hをGT110hに読み替えてご参照ください。

## Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、次の添付品が揃っていることを確認してください。

- 本体×1
- スタートアップガイド(本書)×1
- 保証書×1\*
- 安全にご利用いただくために×1
- キーボード×1
- デバイス固定用ミリネジ×8\*
- 電源コード×1
- ACケーブルタイ(電源コード接続用)×1
- マウス×1
- ベゼルロックキー×2



- スタートアップバックや工場組み込み(BTO)出荷製品などは、「組み込み製品・添付品リスト」を参照してください。
- 添付品は、なくさないよう大切に保管してください。

\*1 梱包箱に貼り付けられています。  
\*2 内蔵バックアップ装置をBTOで購入されたときは本機に実装済みです。

## Step 2 内蔵オプションを取り付ける

内蔵オプションを取り付けます。オプションを購入していない場合、または工場組み込み出荷(BTO)で購入した場合は、Step 3へ進んでください。



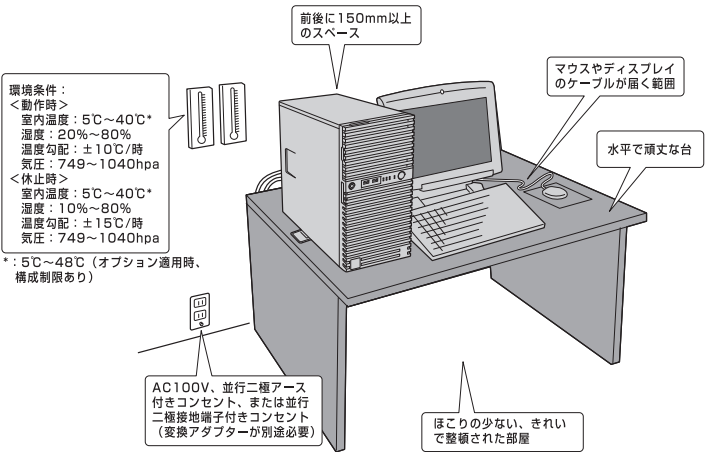
「ユーザーズガイド」の「内蔵オプションの取り付け/取り外し」、およびオプションに添付の説明書を参照してください。

## Step 3 適切な場所に設置する

本機の設置場所を決めます。

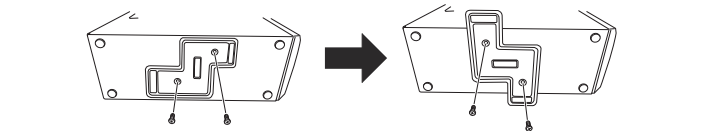


「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。



### スタビライザーの取り付け

スタビライザーを固定しているネジ2つを外してスタビライザーをいったん取り外し、図のように90度回転しネジ2つで固定してください。詳細は、「ユーザーズガイド」の「設置の準備」を参照してください。

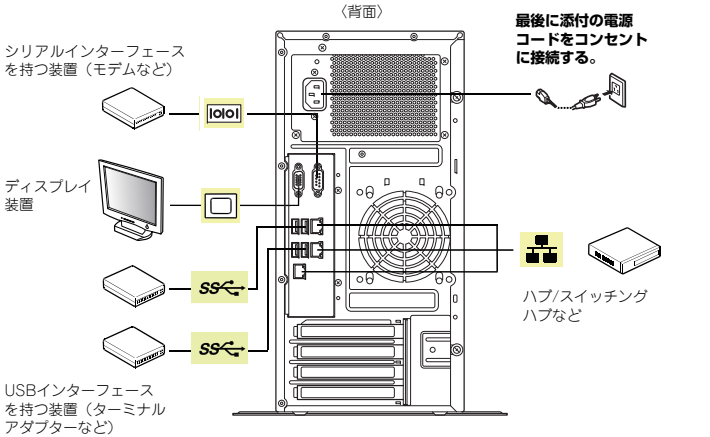
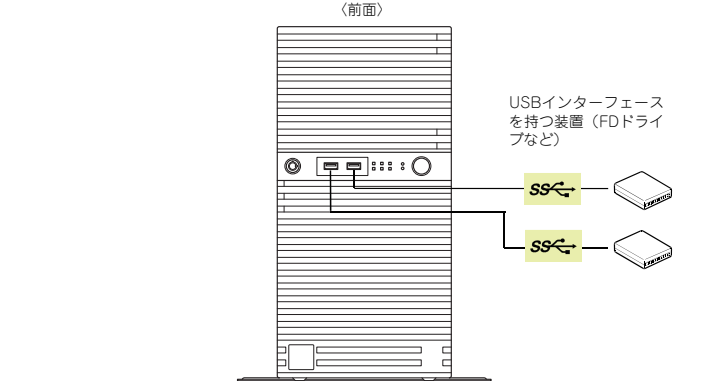


## Step 4 ケーブルを接続する

ケーブルを本機に接続します。



「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。



# Step 5 電源をONにする／OSをセットアップする

次の手順に従って、本機の電源をONにします。

- ① ディスプレイの電源をONにします。初期設定時は、ディスプレイ、キーボード、マウス以外の周辺機器は取り外しておきます。
- ② STATUSランプ1が緑色、STATUSランプ2がアンバー色に点灯しているときは、これらが消光するまで待ちます。
- ③ POWERスイッチを押します。  
ディスプレイに「NEC」ロゴが表示されます。



電源ON後、ディスプレイにエラーメッセージが表示されたり、ピープ音が何度も鳴ったりしたときは、メッセージまたはピープ音の鳴り方を保守サービス会社に連絡してください。

- ④ 購入時の状態に応じて、以下のいずれかの操作をします。  
OSがプリインストールされている場合：  
そのまま何も操作をせずに待ちます。しばらくするとOSが起動します。手順④へ進んでください。  
OSがプリインストールされていない場合：  
画面下に次のメッセージが表示されているとき、<F2>キーを押します(メッセージはハードウェア構成により変わることがあります)。

Press <F2> SETUP, <F3> Internal Flash Memory, <F4> ROM Utility, <F12> Network

しばらくすると、BIOSセットアップユーティリティが起動します。手順⑤へ進んでください。

- ⑤ インストールしようとするOSに合わせ、BIOSの以下の設定を変更します。

	X2APIC <sup>*1</sup>	Boot Mode <sup>*2</sup>
Windows Server 2012 R2	Enabled	UEFI
Windows Server 2012	Enabled	UEFI
Windows Server 2008 R2	Disabled	Legacy
Red Hat Enterprise Linux 6.7 (x86_64)	Enabled	UEFI
VMware ESXi 5/6	Disabled	Legacy

<sup>\*1</sup> AdvancedメニューのProcessor Configurationを選択します。

<sup>\*2</sup> Bootメニューを選択します。

変更後、<F4>キー押し、[Yes]を選択して設定を保存します。  
ユーティリティが終了すると、自動的に再起動します。

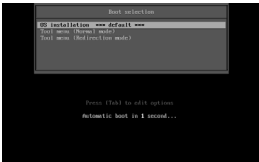
- ⑥ 画面下に次のメッセージが表示されているとき、<F3>キーを押します。

Press <F2> SETUP, <F3> Internal Flash Memory, <F4> ROM Utility, <F12> Network



<F3>キーを押す代わりに、オプションのEXPRESSBUILDER DVDを本機にセットしてもEXPRESSBUILDERを起動させることができます。

しばらくすると、EXPRESSBUILDERが起動します。



- ⑦ ブートメニューから、「OS installation」を選択します。
- ⑧ 言語選択および使用許諾のダイアログボックスが現れます。  
画面に従って操作すると、以下のホームメニューが表示されます。



- ⑨ ホームメニューの「セットアップ」を選択します。

- ⑩ ステップ1では、「自動認識」「手動設定」「設定のロード」のいずれかをクリックしてインストールしたいOSを選択します。  
選択後、画面右のアイコンをクリックしてステップ2に進みます。
- ⑪ ステップ2では、「デフォルト」「カスタム」のいずれかをクリックしてパラメーターを設定します。  
設定後、画面右のアイコンをクリックしてステップ3に進みます。
- ⑫ ステップ3で設定を確認後、画面右のアイコンをクリックしてステップ4に進みます。問題なければステップ4の「開始」をクリックしてください。
- ⑬ 以降、画面に従ってセットアップを続けます。  
自動インストール中は、OSライセンスの確認画面またはインストール完了画面が現れるまで、キーボード、マウスなどの操作をしないでください。
- ⑭ OSインストール後、必要に応じてOS、ドライバを設定します。詳細は、「ユーザーズガイドについて」に記載の方法で、インストレーションガイドを参照してください。



インストレーションガイドは、ユーザーズガイドと同様にEXPRESSBUILDERに格納されています。

## Windows サービスパックについて

本機へサービスパックを適用するときは、「インストレーションガイド(Windows編)」に記載の「サービスパックの対応」を参照してください。

# Step 6 バンドルソフトウェアのインストール

本機には、次のようなソフトウェアがバンドルされています。  
必要に応じて、これらのソフトウェアをインストールしてください。



「管理PC」は、一般的なクライアントコンピュータを使って構築することができます。(本機で代替することも可能です)

名 称	インストール先	概 要	対応OS	
			Windows	Linux
ESMPRO/ServerAgent Service	本機	本機の状態を監視することができます	○	○
ESMPRO/ServerAgent Extension	本機	本機をリモート管理できます	○	○
エクスプレス通報サービス	本機	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます	○	○
エクスプレス通報サービス (HTTPS)	本機	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます	○	—
ExpressUpdate Agent	本機	本機のファームウェア、ソフトウェアなどのバージョン管理と更新ができます	○	○
Universal RAID Utility(URU)	本機	RAIDコントローラの管理、監視ができます	○	○
装置情報収集ユーティリティ	本機	保守用の各種情報を採取することができます	○	○
Ezclct Viewer	本機	装置情報収集ユーティリティが採取した情報を表示することができます	○	—
Server Configuration Utility	本機	BMCを設定することができます	○	○
情報採取ツールactlog	本機	システムに異常が発生した際の原因切り分けを支援します	—	○
情報採取ツール kdump-reporter	本機	Linux カーネルクラッシュダンプの一次解析レポートを自動生成します	—	○
ESMPRO/ServerManager	管理PC	ESMPRO/ServerAgentServiceなどと連携し、本機を管理することができます	○	○
エクスプレス通報サービス (MG)	管理PC	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます	○	—

Windows版のバンドルソフトウェアは、次の手順でインストールできます。



- Windows版のバンドルソフトウェアの詳細は、手順③記載のメニューの「説明書」を参照してください。
- Linux版のバンドルソフトウェアは、「インストレーションガイド (Linux版)」を参照してください。

- ① インストール先が「本機」となっているものをインストールするときは、本機にインストールされたWindowsを起動します。「管理PC」のときは、任意のPCにインストールされたWindowsを起動します。
- ② Administrator権限のあるユーザーアカウントでログオンします。
- ③ 本機の場合、デスクトップまたはスタートメニューから「NEC EXPRESSBUILDER」をクリックします。管理PCの場合、オプションまたはダウンロードして作成したEXPRESSBUILDER DVDをセットします。  
次のようなメニューが起動します。



メニューの「メンテナンス」から、バンドルソフトウェアをリムーバブルメディアにコピーできます。このメディアを使い、管理PCにインストールすることができます。

- ④ メニューの「統合インストール」または「各種アプリケーション」をクリックします。
- ⑤ インストールしたいバンドルソフトウェアを選択し、クリックします。
- ⑥ 以降、「インストレーションガイド(Windows編)」などに従い、インストールを進めてください。

# Step 7 お客様登録をする

弊社では、製品ご購入のお客様に「お客様登録」をお勧めしております。次のWebサイトからご購入品の登録をしていただくと、お問い合わせサービスなどを受けることができます。

<http://club.express.nec.co.jp>



以上で、Express5800シリーズのセットアップは完了です。

## トラブルが起きたときは

「ユーザーズガイドについて」に記載の方法で、「メンテナンスガイド」を参照してください。

Express5800シリーズに関するご質問、ご相談は「ファーストコンタクトセンター」で受け付けています。  
(電話番号のかけ間違いが増えています。番号をよくお確かめの上、おかけください。)

**ファーストコンタクトセンター TEL. 03-3455-5800 (代表)**

受付時間/9:00～12:00、13:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日を除く)  
次のWebサイトにも情報を掲載しています。

- <http://jpn.nec.com/>  
製品情報やサポート情報など、本製品に関する最新情報を掲載しています。
- <http://www.fielding.co.jp/>  
保守サービス会社のWebサイトです。サービス拠点の一覧などを掲載しています。

### 商標について

EXPRESSBUILDER、ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。

MicrosoftおよびWindows、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

© NEC Corporation 2018  
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。